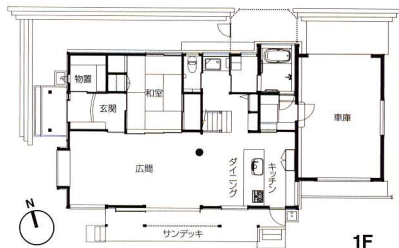
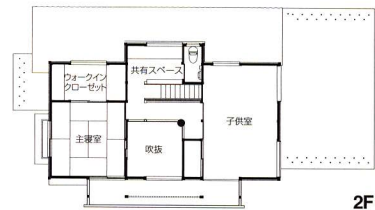


心に残った木の香り。 木造住宅の温かみが 家族を包み込む。

建主のA氏は38歳。サーフィン、バイクなどの趣味を持つ2児の父親である。そんな若い世代が本格的木造住宅を選択したのは、印象的な出会いがきっかけだった。東京から転動してきたA氏は海が近く、自然も豊かな七ヶ浜町の魅力にひかれ、家づくりを思い立ったのが3年前。まずは土地を購入し、最初は住宅メーカーや展示場めぐっていたが、「回っているうちに、何が自分にとっていい家なのかわからなくなりました。ローコストの家はそれなりですし、高級感のあるものは手が出ないし(笑)」。そのうち、何が適正であるかがわからなくなっていたそ

うだ。「そんなときに、同じ団地内で完成した佐々木さんの手がけた家を見つけ興味を持ちまして、連絡を取り、実際見学会に出向いていったんです」。まず、A氏を驚かせたのが強烈な木の香りだった。「新築の家の匂いってどうしても化学っぽいものだと思うんですけど、その家は違ってたんです。心が落ち着くというか、すうっと入ってくるというか、夫婦ともすっかりとこりこりになって帰ってきました」。

本格的木造住宅ながら純和風にならないデザインもA氏をひきつけたポイントだったそう。こうして完成を見たA氏は、木造のダイナミズムが随所にあふれる空間を見せてくれる。まずはリビングに堂々と立つ大黒柱に目を奪われる。「これは実際に山に立っているものを、目で確認し伐採してもらったもの。そういうことが出来るのも、こういう家づくりの醍醐味でしょうね」。



DATA

- 所在地/宮城県宮城郡七ヶ浜町
- 家族構成/夫婦+子供2人
- 構造/木造
- 規模/2階建て
- 設計期間/2004年8月~2005年5月
- 施工期間/2005年5月~2005年12月
- 敷地面積/359.94㎡(108.88坪)
- 建築面積/112.82㎡(34.13坪)
- 延床面積/160.02㎡(48.41坪)
- 総工費/2680万円
- 設計/佐々木文彦(有限会社ササキ設計) <http://sasakisekai.co.jp>
- 施工/アットホーム・おおもり

- 1.目を引く大黒柱はリビングの象徴。木組みの美しさが強調される吹き抜けは堂々とした風格さえ感じる
- 2.小舞を用いてA氏も塗りに参加した土壁
- 3.土間から直接入れる浴室。ご主人こだわりのプランニングだった
- 4.玄関ホールの土壁はあえて竹小舞を見せ格子小窓として印象付けている
- 5.2回の木製バルコニー。屋根の勾配と庇の長さは夏の直射日光を遮る効果もある
- 6.リビングからキッチン、そして手入れの行き届いた庭を望む
- 7.屋根裏が現しになった2階も風が通りぬける心地よい空間を形成している

